

新年のご挨拶



一般社団法人日本エレベーター協会
会長 川崎 幹

新年、明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、ご家族と共に穏やかな新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

旧年中は当協会の活動に格別のご理解を賜り、深く感謝申し上げます。本年もより一層のご支援を賜りたく何卒よろしく願いいたします。

さて、2023年は新型コロナの5類移行によって、個人消費が回復して経済活動が徐々に正常化となってきました。そして省力化・効率化などの設備投資やインバウンド消費が堅調に推移し、弱いながらも景気回復基調になってきたようであります。2024年は専門機関等によると、実質所得の改善基調の下で個人消費の回復が続き、人手不足やデジタル化など構造的な需要から設備投資も拡大基調で推移するという明るい見通しとなっております。

昇降機業界においては今年も忙しい日々が続くことが予想されますが、特に厳しい環境下で昇降機据付及び保守に従事されている会員の皆様には改めて感謝申し上げます。しかし、誠に残念ながら、一昨年に続き昨年も重篤災害2件を含む11件（12月末現在）の労働災害が発生し、まさに非常事態が続いております。会員各社におかれましては、今一度、自らの安全は自らで守るという強い意志を全員が持ち、会社一丸となった労働災害撲滅に向けた取り組みを重ねてお願いいたします。

新しい年を迎え、昇降機の安全、安心の取り組みに対する期待と責務は益々重くなっております。今年も「昇降機の安全、安心」の一層の推進に向けて取り組むとともに、エレベーター、エスカレーターへの安全利用に向けた周知活動にも地方公共団体、鉄道各社様と協力して推進して参ります。2024年はまた、協会活動のデジタル化の推進により、会員向けサービスの向上及び、協会ホームページやYouTube等を活用した、より多くの方々へのエレベーター、エスカレーターの安全利用の周知を実施して参りたいと思います。

最後になりましたが、この一年皆様とご家族の方々が無事で健やかに過ごされますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。